

ブラジルのモロ法相が大統領の政治的干渉に抗議し辞任

- セルジオ・モロ法相が辞任を表明。連邦警察庁長官の更迭を巡るボルソナロ大統領による政治的干渉を批判。
- ボルソナロ大統領はモロ氏の主張を全面的に否定。政治的干渉の是非を巡っては最高裁の判断が重要なカギを握る。
- モロ氏辞任によりボルソナロ政権の求心力低下は避けられないとの見方も。4月24日のブラジル株は大幅に下落。
- ボルソナロ政権はコロナ対策と景気支援に注力する必要。政権の団結した対応で市場の信認を取り戻せるかに注目。

モロ法相が大統領の政治的干渉を理由に辞任

ボルソナロ政権の主要閣僚のひとりであるセルジオ・モロ法相が4月24日、記者会見で辞任を表明しました。

モロ氏は辞任の理由として、ボルソナロ大統領がバレイショ連邦警察庁長官を政治的圧力によって更迭させたことを挙げました。捜査の機密情報を収集するため個人的に信頼関係のある人物を連邦警察庁長官に据えることを求めたボルソナロ大統領を批判しました(図1)。

ボルソナロ大統領はモロ氏の主張を全面否定

4月24日夕方には、ボルソナロ大統領は主要閣僚を従えながらモロ氏に対する反論会見を行い、機密情報を得るため連邦警察への政治的干渉を行ったとするモロ氏の主張を全面的に否定しました。

モロ氏の主張に関しては、すでに連邦検察庁が最高裁判所に対して大統領への捜査許可を求めています。今後、連邦警察への政治的干渉の是非を巡っては、検察の捜査や最高裁の判断が重要なカギを握りそうです。

ブラジル金融市場の反応と今後の注目点

元裁判官として政界の汚職撲滅に尽力したモロ氏に対する国民の人気は高く、モロ氏辞任によってボルソナロ政権の求心力低下は避けられないとの見方もあります。

4月24日のブラジル金融市場では、主要株価指数のボベスパ指数は前日比5.5%の大幅な下落となりました。一方、リアル相場はブラジル中銀の積極的な為替介入の効果もあり、対米ドルで0.8%の小幅下落となりました(図2)。

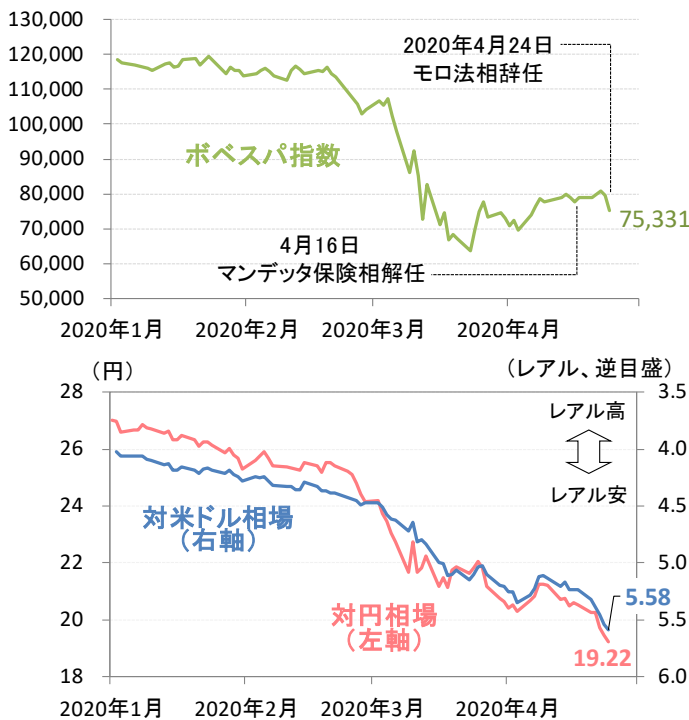
モロ氏の辞任問題はコロナ危機の真っ只中で発生した政治的混乱と言えますが、ボルソナロ政権にとっては新型コロナウイルスの感染抑制策と景気支援のための経済政策に注力しなければならない状況に変わりはありません。ボルソナロ政権が団結した政策対応によって市場の信認を取り戻せるかに注目が集まりそうです。

図1:モロ前法相の辞任会見(4月24日)の要旨

- 2019年後半からボルソナロ大統領が連邦警察庁長官(マウリシオ・バレイショ氏)の交代を要求してきた。
- 大統領は法相就任の際、人事上の自由裁量権を約束した。連邦警察庁長官の更迭は自由裁量権の約束を破るものであり、連邦警察への政治的干渉である。
- 大統領は機密情報を収集するため、個人的に信頼関係のある人物を連邦警察庁長官に据えることを求めた。
- バレイショ長官の更迭を4月24日の官報で初めて知った。バレイショ氏更迭に自分は署名(同意)していない。

(出所)各種報道

図2:ブラジルのボベスパ指数とリアル相場の推移



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月1日~4月24日

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。